



こんにちは 府會議員

さこ祐仁 活動報告

2009年4月12日発行 No.73
千本出水下る十四軒町392
さこ祐仁事務所
Tel.075-813-2117

学生支援の請願に
自・公・民が反対

「学費無償化」は世界の流れ。誰もがお金の心配なしに
教育を受けられるよう、政治が力発揮すべき！

春、大学の町・京都ではたくさん
新しい学生さんたちが希望に胸をふく
らませ、新しい生活をはじめます。し
かし、いま国民生活を襲う貧困が、学
生たちの学ぶ権利すら奪うという問題
をひきおこしています。

四月四日、かえるネットのみなさん
と白梅町で街頭宣伝をおこないまし
た。私は「大学の高学費問題の改善を
求める」請願、「大学生の修学支援制
度の創設を求める」請願での二月の府
議会での論戦を交えて訴えました。と
くに、二月十日の学費ゼロネット（学
費値下げを目的としたネットワーク）
のみなさんが、府議会の全会派を訪問
され「請願」の紹介議員になるよう求
めてこられたときの「学費実態調査ア
ンケート」へ寄せられた学生のみなさ
んの実態を報告。

「兄弟が三人いて学費負担が厳しい
が、親の収入
が奨学金の基
準より少し多
くて借りられ
ず困っている
」。「学費が
納められずに
大学を辞めた
人もいる」
「年間一六〇
万円以上の学
費をバイトで稼
ぐのは無理だ。
京都府独自の
奨学金制度を
作って、学生



北朝鮮「ミサイル」問題～平和であってこそ暮らし・命は守られる

4月5日、第22回仁和健康友の会の総会に参加し、お祝いの挨拶をしました。平和であってこそ暮らし・命が守られること。北朝鮮がロケットを打ち上げようとしている今、北朝鮮は、北東アジアの緊張を高めないように、打ち上げを自制すること。日本政府もピョンヤン宣言に基づいて話し合いで解決を図っていくこと。もし打ち上げても、人工衛星かミサイルか確認して対処すること。さらにいかなる場合でも、核開発をさせないよう6ヶ国協議を通じて日本政府として努力していくことが求められているなどを訴えました。

また、消費税増税の動きを許さないこと、後期高齢者医療制度の廃止のためにも、解散総選挙でこくた恵二衆議院議員の京都1区での勝利と比例での日本共産党の前進が必要だ、と訴えました。



いま世界の流れは、「学費無料」化
です。税金のムダづかいをやめれば財
源は生まれてきます。アメリカ軍への
思いやり予算二八七九億円。親の収入
が四百万円未満の全国の学生の授業料
をゼロにするのに二千八百億円。この
お金を使えばすぐにでもできますね。
全国の学生すべての学費をゼロにする
を救ってほしい」

日本共産党は、この請願を採択すべ
きと主張しました。民主党はマニフェ
ストに高等教育の無償化、奨学金の抜
本的拡充と明記しているが、民主党の
議員は、「あくまで、マニフェスト言
うのは私どもが政権を取った時に：」
と言って反対。自民党は「財政に限り
がある。新教育基本法にも、第一は親
が子どもの教育には責任を持つと盛り
込まれた」と反対。公明党は発言せず
に反対。

府議会報告会・要求懇談会の お知らせ

日時 四月十四日（火）午後七時開会
場所 ハートピア 第五会議室

議会報告だけでなく、要求交流集会とし
て「自治体要求連絡会」と共催します。
四月十六日は京丹後市の府・市議会報告
会に参加します

小町市
五日お昼から、山科
の「小野小町」ゆかり
の地、随心院で開催さ
れている第十回「小町
市」へ行ってきまし
た。

まちづくり、地域お
こしのために「自分た
ちの力でどれだけのこ
とができるのか」「な
にかしよう」と考え、
地域で商売をされてい
る中小業者の住民のみ
なさんに知ってもらお
うと、「商い」の原点
『市』の開催を企画し
て今回で十年目だそう
です。地域の歴史・
文化・経済の集積地
ある「小野小町」ゆか
りの地、随心院で実現
したので、小町市と命
名されたものです。
例年雨が降ったりして
いたそうですが、今年
はよい天気の恵まれ、
千人以上の方が訪れて
いました。

